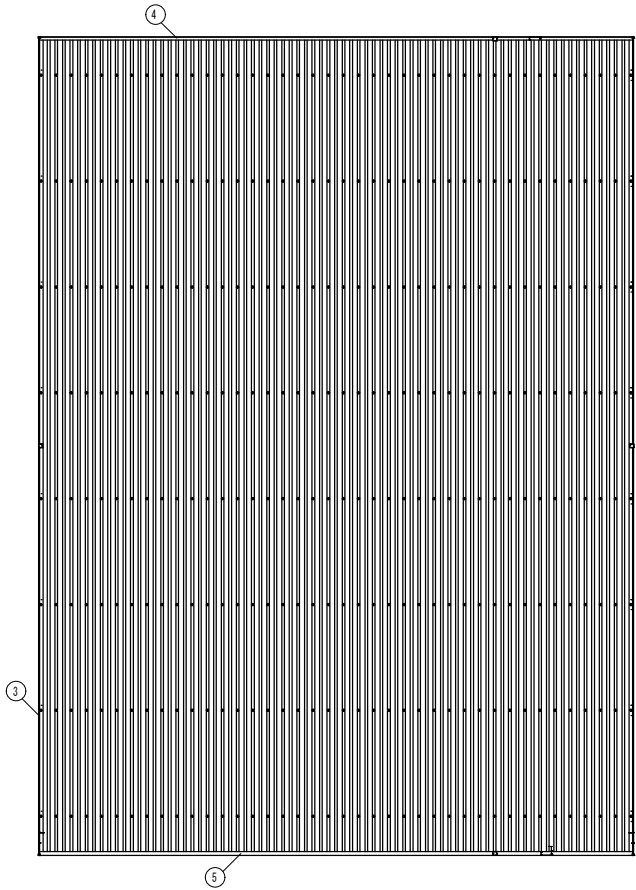
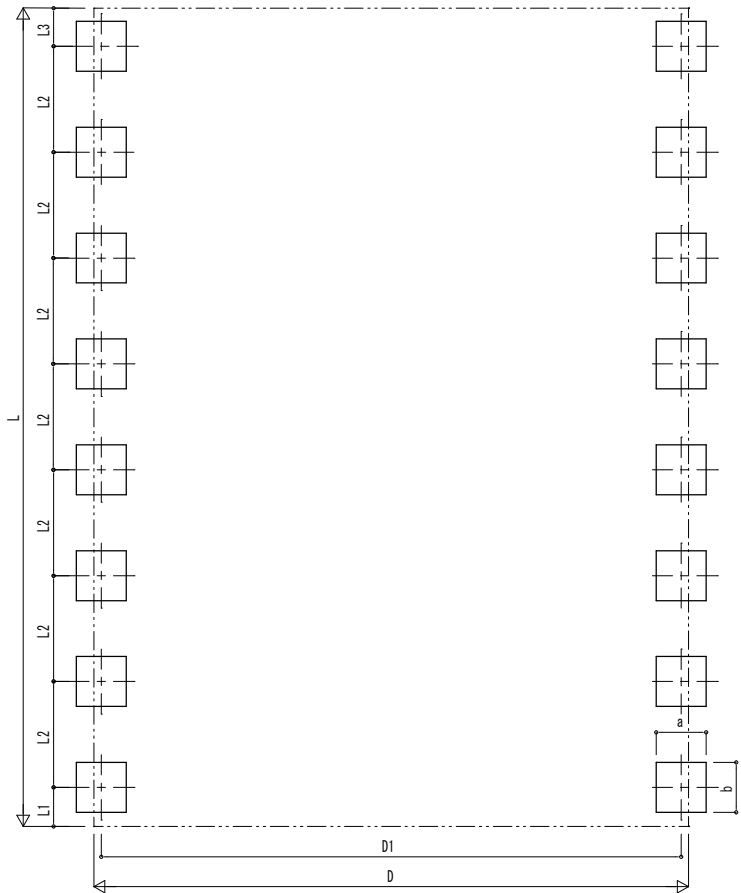


■ 姿図



■ 基礎配置図



■ 基礎寸法表

C

間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎			土間コンクリート同時施工基礎		
		地耐力[kN/㎡]			地耐力[kN/㎡]			地耐力[kN/㎡]		
		30	50	100	30	50	100	30	50	100
		a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b
80	55	860	670	440	860	600	440	820	590	450
	60	890	690	460	890	620	460	840	610	480

・奥行呼称55+55は55、55+60および60+60は60の基礎寸法となります。
・H3500の場合、独立基礎は150、土間コンクリート考慮基礎は50、土間コンクリート同時施工基礎は100足した寸法にしてください。
・耐風性能54[m/s]の場合、独立基礎は250、土間コンクリート考慮基礎は150、土間コンクリート同時施工基礎は200足した寸法にしてください。

■ 土間同時施工基礎アンカー本数表

間口呼称	奥行呼称	アンカー本数
80	55	4
	60	

・柱1本あたり

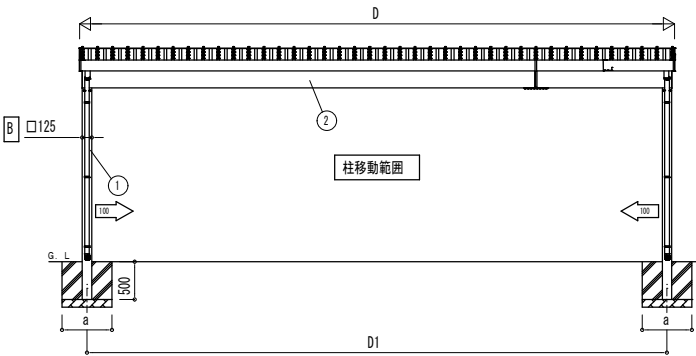
■ 間口-奥行-高さ寸法表

A F

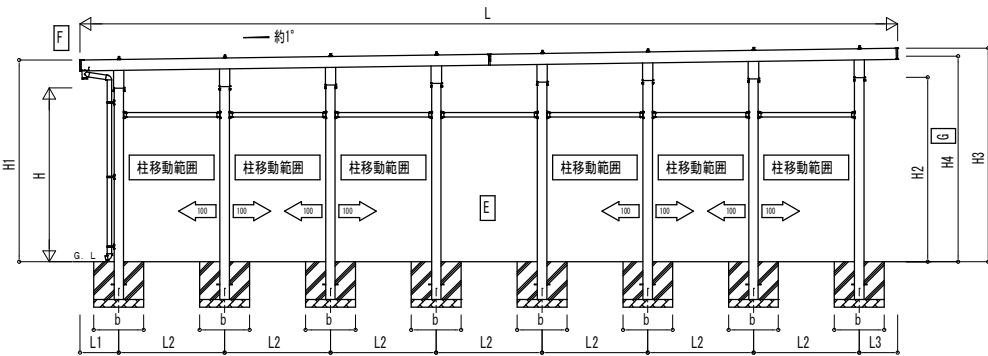
間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3
80	55+55	7870	7673	10821	515	1400	506
	55+60			11331	594	1450	587
	60+60			11841	674	1500	667

間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	H	H1	H2	H3	H4
80	55+55	23	2300	2669	2440	2824	2720
	55+60			2668	2445	2830	2725
	60+60			2667	2450	2836	2730

・H=2500 (H=3000) (H=3500) の場合、H1、H2、H3、H4に200 (700) (1200) 足した寸法にしてください。



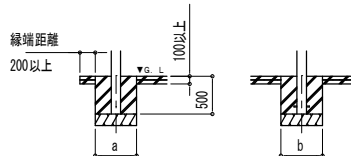
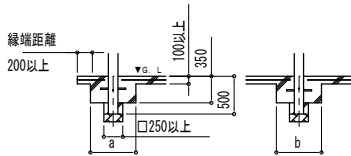
独立基礎の場合



D ■ 基礎断面図

● 土間コンクリート同時施工基礎の場合

● 土間コンクリート考慮基礎の場合



■ 主要部材材質一覧

主要部材	材質	表面処理
①柱	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
②梁	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
③鼻隠し(側面)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
④鼻隠し(水上側)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜
⑤鼻隠し(水下側)	アルミニウム合金 押出形材	陽極酸化塗装複合被膜

D: 間口
D1: 柱芯々(間口方向)
L: 奥行
L1: 柱芯～屋根端部(水下側)
L2: 柱芯々(奥行方向)
L3: 柱芯～屋根端部(水上側)
H: 高さ (G.L～梁下(水下側))
H1: G.L～屋根上端(水下側)
H2: G.L～梁下(水上側)
H3: G.L～屋根上端(水上側)
H4: 軒高 (G.L～梁上(水上側))
a: 基礎 (間口方向)
b: 基礎 (奥行方向)

変更記事

設計 監理

殿

工事 名

ゆき盛くんⅢ・耐風くんⅢ

照 査

担 当

作 図

尺 度

御受領印

施 工

殿

図 面 名

積雪100CM仕様 6台用 (3台用) 奥行 (2) 連棟セット 柱16本仕様

1/100

年 月 日

Daisen (株)大仙